

11・12
2007
No.245
JA広報

けねへつ



10 4

第31回
JA計根別B&Wショウ

10 7

本別開基80周年
知床流本別酪農太鼓
保存会設立30周年



11 19

第31回
根室管内農業賞

酪農振興と地域社会への貢献が評価され 有原氏が根室農業賞受賞

第三十一回根室管内農業賞

根室管内農業賞委員会では、農協事業や地域への功績、農業経営の実践活動に顕著な成績をあげた五名を対象に第三十一回根室農業賞表彰式を十一月十九日（農協法公布記念日）寿宴にて盛大に開いた。

表彰式には管内農協組合長をはじめとする各関係機関の代表者が出席。主



催者を代表して
佐々木組合長
（標津）から「そ

れぞれの地域で
困難な時代を乗
り越えるため今
後もご指導願ひ
ます」と受賞者に挨拶。来賓を代表し



受賞者代表謝辞：渡辺 昭氏

て中司道議から「受賞者の皆様もまだ
まだ現役であり、地域発展のために
これからも尽力されることを期待しま
す」と話された。続いて仲野議員、石
井支庁長らが受賞者に対して祝辞を述
べた。

その後、受賞者を代表して渡辺昭氏
が「このたびの受賞も今日まで私達を
導いてくれた関係各位のおかげであり
深く感謝申し上げます。今後地域発
展のために尽力して参ります」と話
した。

計根別農業協同組合からは、有原国
男氏（西竹）が根室農業賞を受賞。有
原氏は、高校卒業後自衛隊や民間企業
で一般社会の経験を積み、弟の大学進
学を機に酪農経営に参画。その後、牛

舎建設や機械の導入を図るなど経営の
規模拡大に着手した。平成元年からは
生乳取引委員会、四年には酪農技術向
上対策委員会委員長に就任。乳質向上
のため牛舎内外環境共励会などを通じ
て経営改善の啓蒙運動を実践した。ま
た、有原氏は地域からの人望も厚く七
年五月には計根別農業協同組合理事。

任期中は、経済委員長や総務企画委員
長という要職を務め、育成センター哺
育舎建設、自動哺乳機導入など地域の
模範となる育成技術の普及や預託事業
の基盤を確立した。八年には任意団体
であった西竹牧野組合を法人化。設立
時には組合長を務め牧場内の施設整備
や授精事業を実現させた。十年には中
標津町農業委員に選任され、任期中（九
年間）は農地利用集積、農地流動化を
精力的に推進した。

このように地域の基幹産業である酪
農の振興、地域社会の活性化と発展の
ために多大
な功績を残
され、この
たびの根室
農業賞を受
賞すること
となった。



壇上にて表彰を受ける有原夫妻



農業賞を受賞した5名



関係者らが有原氏の受賞を祝う



西澤町長の乾杯で祝宴に…

参会者200名で地域の節目を祝う

本別開基80周年、知床流本別酪農太鼓保存会設立30周年



タイムカプセル前で当時の思い出が蘇る



相澤委員長を囲んで功労賞受賞と記念撮影

の受賞は、
田忠吉さん
から「本日



受賞者代表挨拶：
蛭田忠吉氏

た。受賞者を代表して蛭田忠吉さんから「本日

また、長年の功績を讃える功労賞ならびに特別表彰が行われ、蛭田忠吉さん、故中垣金久さん、故長尾良實さん、北村正さん、稲毛三郎さんの五名が功労賞を受賞。長寿を讃えて中垣みねさんが特別表彰を受賞した。

「す」と式辞を述べた。

式典・祝賀会に移ると相澤温実行委員長が開拓当時から現在に至るまでの本別地区の歴史を話し、「本日を契機に新しい魅力溢れる本別に向けて努力していくことを地域全員で誓います」と式辞を述べた。

本別地区では、開基八十周年と知床流本別酪農太鼓保存会設立三十周年を祝い、十月七日本別会館にて記念式典、祝賀会を盛大に開いた。

記念式典は、タイムカプセルの開封式から進められ、本別小学校が閉校となった平成元年に埋設、掘り出された懐かしの品々が出席者の記憶を蘇らせた。

の受賞は、
田忠吉さん
から「本日

最後は、連合会相談役である北村正氏の万歳三唱。地域の歴史の節目となる記念式典、祝賀会が閉会となった。

祝宴を盛り上げる本別酪農太鼓が披露され、若い世代の迫力ある演奏に参会者も魅了されていた。



別海町議会議長 渡辺氏による祝杯

さらに、祝宴は、約二百名の参会者で賑わい、久しぶりに会う恩師や友人・知人との会話を楽しみ、当手を振り返る懐かしい思い出話しが会場のあちこちから聞こえてきた。

みんなを代表してのものだと思っています。汗と涙で切り拓いた本別に感謝します」と謝辞が述べられた。

水沼町長、纈組組合長、今西文化連盟会長らは「諸先輩方の不屈の開拓精神に敬意を表します。地域の伝統を引き継ぎ本別地区の益々のご発展を祈念します」と祝辞を述べた。



祝宴では当時を振り返り昔話して会話も弾みました



本別の伝統を受け継ぐ酪農太鼓



特別表彰受賞者：中垣みねさん



旬の幸!! 秋鮭を買い求め会場は大混乱!!



根強い人気のジャガイモ、タマネギ詰め放題

旬な食材と特売品を抱負に取り揃え 組合員から大好評



地方発送の新巻 大好評!!



各テナント也大繁盛!!

今年の目玉となったのは、竹ぼうき、長靴、旬な食材の地方発送。会場内はどのコーナーも長蛇の列が出来るほどの賑わいとなった。また、牛乳・乳製品の消費拡大を呼び掛ける青年部はジャンボハンバーグ、えふ・すういーの牛乳豆腐のキムチ鍋も大好評でした。

JA計根別では、組合員皆様へ日頃の感謝の気持ちを込めて、十月二十七日本年度で第二回となる秋の収穫味覚祭を農協事務所裏（芝生）にて開いた。

秋の収穫味覚祭は、昨年度から開催され、購買部やAコープを中心に旬な商品や特売品が用意され、さらには関係機関皆様のご協力により抱負な商品が取り揃えられイベントを大いに盛り上げた。



タイムサービスで長蛇の列!!



今年も大人気!! 竹ホーキと長靴の大安売り!!



ハンバーグと牛乳を販売!! イベントを盛り上げる青年部

営農計画樹立説明会



経営にもうひと工夫、家族みんなできり組む一年を

計根別農業協同組合では、新年度の営農計画樹立に向けて、十一月二十六～二十八日の日程により、各地区酪対（三地区）単位で営農計画樹立説明会を開いた。

説明会は、農協第二、三会議室にて開かれ組合員約百二十名が出席。額組組合長から「十九年度は乳価下落、減産、国際的な情勢が影響して資材が高騰するなど厳しい一年だった。しかし、新年度は増産基調により道内目標値が一〇％で設定、生乳取引価格も値上げの方向で交渉が進められる予定となっている」と新年度の営農計画樹立に向けて明るい話題も話され閉会となった。

提出された議案は参事や各担当部長が詳細を説明。出席した組合員から「生産資材の高騰により次年度も不安」「油類などの価格情報をリアルタイムに提供して欲しい」「乳価は上がるのか」など新年度の営農計画樹立に向けて多くの意見、要望が出された。

最後に、額組組合長から「現状の乳量や乳価を考えると新年度の収支も厳しいが、経営にもうひと工夫を加え、正直な気持ちで家族みんなが協力して取り組んで欲しい」と話され閉会となった。

生田東高の生徒三十二名が酪農体験 神奈川県生田東高等学校受入

根室管内八J Aでは、根室地区酪農対策協議会を核として神奈川県から生田東高等学校の生徒二四〇名を受け入れた。

生徒受入（酪農体験）には、学校側から「北海道の自然に触れ、自然を大切にすることを養い、人との交流や触れ合いの素晴らしさを生徒たちに実感させたい」との強い思いが伝えられ、当農協としても三十二名の生徒受入を決定。十月三～五日までの三日間それぞれの組合員宅（十六戸）にて酪農体験を実施することとなった。



酪農体験を終えた生徒達と農協や組合員との閉会式

十月三日、J A計根別の対面式では、農協を代表して富田参事から計根別の歴史や経営概要が説明された後に「酪農家でのファームステイは最初で最後の体験になると思います。計根別での三日間を十分楽しんでください」と激励の言葉が贈られた。

その後、組合員宅へと移動した生徒達は作業着に着替えて牛舎へと向かった。後藤牧場（上標津）で受入となっ

た小笠原詩織さん、加藤友菜さんは「牛乳が出たーっ」と牛舎で二人は大騒ぎ。仕事でも「全

てが感激」「エサは畳の臭いがする」「牛乳嫌いが直りそう」と初めての搾乳体験談を楽しそうに話していました。残りの二日間も生徒全員が酪農家での生活や北海道の大自然を満喫できたことと思えます。



牛舎で牛にも慣れました!!

十月五日（最終日）、酪農体験を終えた生徒たちは農協で再会。それぞれの牧場での出来事などを話していましたが、計根別で過ごした三日間は有意義なものになったと思います。北海道（計根別）での酪農体験をいい思い出として生徒達が社会へと巣立っていく事を願っています。

最後に、酪農体験でお世話になりました組合員の皆様には深く感謝申し上げます。



酪農家の生活に大満足の小笠原さんと加藤さん!!

シニアは2年連続ヒルタビュー、 ジュニアは消流センターが初タイトル



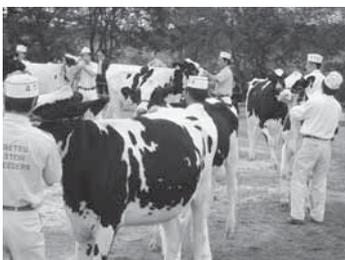
審査前に入念な調整!!



共進会を見学する子供たち!!



ジャッジが気になる会員、
北村壮くん大健闘!!



4部も激戦!! リードマンも緊張の一瞬!!

計根別農協乳牛改良連合会主催による第三十一回JA計根別B&Wショウが十月四日農協共進会場にて盛大に開催された。
この日は天候にも恵まれ絶好の共進会日和となった。審査員には、オールジャパン・ブリーダーズ・サービス(株)の竹田秀臣氏を招き、正確かつ迅速な審査が行われた。
今年のブラックは出陳頭数約一〇〇頭。会員や各同志会からのチームワークにより各部ともスムーズに進められるショウとなった。
結果は、ヒルタビュー MBB フラニー号がシニアグラランドチャンピオンの栄誉に輝き、蛭田健太郎氏が二年連続でタイトルを獲得した。ジュニアグラランドチャンピ



審査員：竹田秀臣氏

オンには家畜消流センター所有のカードアスクリューデンディ号となり、初めてのタイトル獲得に関係者から大きな歓声が上がった。また、経産で圧倒的な強さを見せた南部地区が二年連続で団体戦を制した。
最後に、今年度も各団体からのイベント協力(えふ・すういーるのクラムチャウダー無料配布やAコープ計根別店による乳製品販売(白いプリン))や計根別小学校の共進会見学による子供達からの応援もありB&Wショウを大いに盛り上げてくれました。



消流センターが初のジュニアチャンピオンに...

最後に、今年度も各団体からのイベント協力(えふ・すういーるのクラムチャウダー無料配布やAコープ計根別店による乳製品販売(白いプリン))や計根別小学校の共進会見学による子供達からの応援もありB&Wショウを大いに盛り上げてくれました。



シニアのTOP2 ヒルタビューとスターフィールド

(シニアグラランドチャンピオン)	ヒルタビュー MBB フラニー	蛭田健太郎
(シニアリザーブチャンピオン)	スターフィールド ヒンペル キャスパー エリー	星野 淳
(ジュニアグラランドチャンピオン)	カードア スクリュー デンディ	家畜消流センター
(ジュニアリザーブチャンピオン)	ケネカランド ペーシャス クレア	ケネカランド

1部1位	グルービー ティーコート アネスト	家畜消流センター
2部1位	HEF マック プレッツェル ET	ハイエストファーム
3部1位	ケネカランド ペーシャス クレア	ケネカランド
4部1位	メモリー セブ マーシャ	北村 篤
5部1位	カードア スクリュー デンディ	家畜消流センター
6部1位	HEF クリス ランページ	ハイエストファーム
7部1位	メルティリッジ ダンディー トミー	本田 正志
8部1位	メモリー マリオ ストーリー	北村 篤
9部1位	ヒルタビュー MBB フラニー	蛭田健太郎
10部1位	ヒルタビュー ロレッタ ポドンク	蛭田健太郎
11部1位	K I F マスコット ダーハム	加藤 司



今年のブラックも無事終了!!

心を込めた手料理と 楽しい余興でおもてなし

第8回手つなぎふれあい会



額組組合長の乾杯で食事を頂く会員



軽い運動で体もリフレッシュ!!

手つなぎの会では、十月十一日中標津町交流センターにて第八回「手つなぎふれあい会」を盛大に開いた。

この日は、計根別地域のおじいちゃん、おばあちゃん五十一名が出席。手つなぎ会員や農協女子職員十五名が前日より材料を仕込み、心を込めた美味しい手料理で参加者を歓迎した。美味しい料理を食べた参加者は、食後に軽い体操とビンゴゲームを楽しんだ。ビンゴゲームでは組合長自らが足の不自由な参加者に賞品を席まで届けられるなどサービスマン満点。田中繁子さんからは華麗に舞う日本舞踊が披露されいずれも大好評となりました。

ふれあい会の締めは毎年恒例となった参加者全員による「ふるさと」の合唱。参加者が目を細めて歌詞カードを見つめ、それぞれが真剣な表情で「ふるさと」を熱唱。

閉会にあたり、参加者から「本当にありがとうございました」と感謝の言葉を頂き、出席者全員が満足してくれたことと思います。



田中繁子さんから日本舞踊が披露



食事の準備に大忙しの手つなぎ会員



開場を待ちわびる出席者!!



美味しい料理に大満足の出席者、テーブルには食べきれないほどのご馳走が…



ビンゴゲームでサービス満点の組合長



丹羽代表の説明を聞く参加者

も判るようになり、色々な案が生まれてくるとのことでした。最初は反対していた奥さんも朝の牛舎仕事を終えてから店の責任者として頑張っているそうです。

乳製品販売の夢を実現した阿寒町「あっかんべえー」視察 ～JA計根別女性部 青葉会～

青葉会では、釧路管内で自らが生産した生乳を使って乳製品を販売する事例を視察しようと十月五～六日にかけて九名の部員が視察研修会に参加した。視察は、阿寒町の(有)丹羽牧場、手作りアイスやヨーグルトなどの乳製品を販売する店舗「あっかんべえー」を訪れ、経営内容を



食事と会話を楽しむ女性部員



気の合う仲間と楽しいリースづくり

個性的なリースを完成 ～JA計根別女性部～

十一月二十七日、JA計根別女性部では、ふあーまつく二階にてお花講習会を開き、女性部員二十六名が参加した。講師には、清里町「花いちもんめ」から二名の講師を招き、麦とポプリを使ったリース作りにチャレンジした。リースは思ったより簡単であり、短時間で仕上がった部員は大満足。それぞれが個性的なリースを完成させ、今年のお花講習会を終了した。



花いちもんめさんから指導を受ける出席者

女性のための講習会 ～根室地区農業共済組合主催～



共済組合から乳房炎に対する知識を学ぶ出席者

十月三十日、中標津町「寿宴」にて共済組合主催による女性のための講習会が開かれた。講習会は「牛の乳房炎について」と題して杉山獣医師が笑いを誘うトークで約一時間半の講義となった。講習中はメモを取りながら真剣に聞き入る場面も多く、積極的に質問する参加者もいました。また、会場では質問し難いという方のために質問用紙が用意され、後日 FAXか郵送にて回答できるなどの配慮もありました。

メイクを学び、親睦を深めた研修会 ～平成19年度根室地区フレッシュミズ研修会～



メイクさんの指導により大変身!!メイクの技術を学んだ研修会

JA根室地区女性協議会フレッシュミズでは、十月二十九～三十日に川湯観光ホテルにて平成十九年度根室地区フレッシュミズ研修会を開いた。

当農協女性部から漆原弘子さんと松田あゆみさんの二名が参加した。研修会初日は夕方からの懇親会、管内部員十五名、地区副会長や事務局を含めた二十四名で親睦を深めた。

翌日は、ワミレスが講師となり「メイク講習会」を開催。個人毎にメイク指導がなされるなか、部員それぞれの個性に合わせた化粧やメイクのノウハウを学びました。

作品展示に向けて 布草履づくりに取り組む ～JA計根別女性部 緑会～



北村照子さんの指導により見事に完成!!



慣れない作業に悪戦苦闘!!

女性部緑会では、十一月に開催される女性リーダー研修会（家の光を活用した作品展示）に向けて九月二十一、二十五日の二日間に渡り、農協和室にて「布草履」づくりに取り組んだ。

布草履づくりには、女性部役員や緑会会員の六名が参加。家で使わなくなったタオルや着物生地などを持ち寄り、編み始めは慣れない作業で苦勞の連続でしたが、さまざまな色や素材の草履が見事に出来上がりました。

消費拡大を目的に加工研修会開催 ～JA計根別女性部 緑会～



腸詰め作業に真剣に取り組む会員

十一月二十六日、緑会は乳肉製品の消費拡大を目的として、畜産食品加工研修センター（計根別）にて乳肉製品加工研修会を開いた。

この日は、緑会の会員七名が参加、ストリングチーズ（十二kg）とソーセージ（十二kg）づくりにチャレンジした。研修会に初めて参加した会員はソーセージの腸詰めや慣れない作業に苦勞されていました。出来上がったチーズやソーセージに大喜び、思わず「美味しそう」という言葉も聞こえてくるほどでした。



伸ばして伸ばして見事に完成したストリングチーズ!!



とても楽しそうな出席者!! 作業中も大爆笑!!

また、ソー
セージづくりで
は腸詰めなどの
作業に苦戦して
いましたが、美
味しそうなソー
セージを沢山作
り、参加者も大
満足の一日と
なった。

焼き立てパンとソーセージに大満足 ～フレッシュミズパンづくり～

十一月二十二日、女性部フ
レッシュミズは、別海農漁村加
工体験施設にてパンとソーセー
ジづくりにチャレンジした。
この日は、フレッシュミズ九
名が参加。加工センター職員の
指導のもとわいわい楽しみなが
ら、あんパン、ソーセージパン、
バターロールなど五種類のパン
を焼き上げた。



美味しそうなパンの出来上がり!!

平成19年度 JA全道女性リーダー研修会、家の光大会 ～JA北海道女性協議会～

の検証、活動の工夫などの重要性
を再確認した。
翌日の研修会では、家の光協会
による表彰と情勢報告。研修会に
移るとNP北海道フルールRだけ
だりようさんを講師に草花による
染物体験が実施され、少し緊張ぎ
みに作業を進める参加者でした
が、初めての体験にとっても満足し
ていたようです。

その後、女性部活動をテーマにJA全中
米本氏からJA女性
組織の現状や組織活
動を学ぶこととなつ
た。特に、新三ヶ年
計画では地産地消や
食農教育など地域住
民、若い世代、家族
らとともに活動を実
践しようと呼び掛け
た。さらに活動成果

十一月十二日十三日の二日間にわたり、
オテル・ド・レーゼンサッポロにて「JA
全道女性リーダー研修会、家の光大会」が
開かれ、当女性部から二名（渡辺広美、長
谷川希美）が参加した。
大会初日は「裁判員制度について」と題
して映画が上映され、札幌地方検察庁の講
師により三十分の講演を聞くこととなつ
た。



染物体験にチャレンジする二人!!



懇親会で交流を深めて...

新町長が抱負語り、 試食会で消費拡大を呼び掛ける ～第35回別海町酪農女性のつどい～



うどんと漬物を用意する二人!!

も好評でした。
また、作品展示に
は緑会から布草履、
小林蒼子さんのお手
玉やエコバックが展
示されました。

その後、牛乳・乳製品を使った料理・
デザートの実演と試食会。当女性部から
「牛乳手打ちうどん」と「ヨーグルト味
噌漬け」が紹介された。試食した参加者
から「うどんに牛乳の臭みも無く美味し
い」「漬物も浅漬けみたいなのに簡単」「美味
しいから作ってみよう」と評価されとて

この日は、『新町長抱負を
語る』と題して、現在の酪農
情勢や生活関連の施策が話さ
れ、今後の酪農経営、病院・福祉、ゴミ
処理問題など町としての取り組み内容を
学んだ。

十一月
二十一日、別海
町中央公
民館で第
三十五回
別海町酪
農女性の
つどいが開かれ、当女性部の
三役が参加した。



試食会も大好評!! 株田さんも思わず「ニコリ、

家族経営の大切さと 経営戦略を学んだ研修会

中山間別海町計根別サブ集落女性視察研修会



30頭ロータリーパーラーを見学



施設内を見学、経営の考え方を学ぶ

中山間別海町計根別サブ集落は、酪農経営の先進的な事例を視察することを目的として、協定者の家族（女性）を対象に十月二十九日標茶、中標津町方面にて視察研修会を行い、女性二十八名、事務局二名の合計三十名が参加した。

視察一件目は虹別の千葉牧場。十六年度ロータリーパーラー（三十頭）導入後、出荷乳量二〇〇〇t。労働力は本人夫婦と従業員七名。生乳生産や繁殖状況を従業員と毎月確認、合わせて経営の課題抽出も行うとのことだった。

また、千葉さんは一つの職場作りや人を上手く使うためのコーチングを学び「従業員のケアが重要。何でも話し合える環境が大切」と話していた。

さらに、経営以外では酪農女性を育てる会（ルビーの会）に参加。夫婦二人で営農計画を樹立させる

ことを目標に活動を展開しているとのことだった。

次の視察は、J A中標津町管轄のTMRセンター。敷地面積四畝、総事業費七億五千万円を費やし、バンガー二十四基を始めとする施設や機械を導入。現在は十五戸の酪農家に一日二回の飼料を供給。料金体系も一日九三〇円（一頭あたり）で設定されていた。給与メニューも三パターン設定され、サイレージ混合割合も一番七〇%、二番三〇%。一頭あたりの乾物摂取量を二・五kgとして供給され毎日の作業となるサイレージの水分測定は怠らないとのことだった。

最後に、千葉牧場では人を上手く使い、動かすことにより、家族（従業員を含む）が一つになって経営に取り組む優良事例、TMRセンターでは労働力や経営コスト削減に向けた手法を学ぶ貴重な研修会となった。



TMRセンターの長瀬代表に施設内を案内される出席者

組合員家族三十二名が 健康管理指導を

生活習慣病検診二次検診、結果説明会

計根別農業協同組合では、巡回ドックを受診した組合員さんとその家族を対象に十月二十二日農協第二、三会議室にて生活習慣病検診二次検診を開いた。

二次検診は、本年度の巡回ドック検診結果をもとに対象者との面談が行われた。午後からは、生活習慣病に対する知識を高めようと巡回ドック受診者全員を対象に結果説明会が開かれ約三十二名の組合員さんらが出席。講師には別海町保健センター保健師三名、中標津町保健センター保健師一名を招き、生活習慣病予防や検査内容が説明され、出席者に対する健康管理指導が行われた。

最後に、この結果説明会も例年参加者が多く、今年は男性の参加者が半数以上となり、自らの健康管理を考える組合員さんが増えているように思えます。今後一人でも多くの組合員さんが巡回ドックを受診されることを願っています。



出来立てパンの美味しさに大満足

えふ・すついーるパンづくり講習会

十月二十九日、えふすういーるは別海農漁村加工体験施設にてパンづくり講習会を開いた。

講習会には、メンバー四名、事務局一名が参加。カステラ、あんパン、ソーセージパン、ロールパン、食パンの五品にチャレンジ。

メンバーは、以前にもパンづくりの経験があり、作業行程の迷いこそありましたが手際良く作業を進めた。調理中も講師（館内さん）との会話も弾み、とても「ひょうきん」な講師とえふメンバーで楽しい時間を過ごしました。



熱心に作業を進めるメンバー



パンにゴマをトッピング、これはあんパンかな？

休憩時（昼休み）には、出来立てのロールパンやソーセージパンを試食。この場でないと味わえない美味しさにメンバーも大満足。

最後に、約四時間の長い作業を終えたメンバーでしたが、出来立てパンの美味しさに「またすぐにもパンを焼きたい」との気持ちを残して講習会が終了しました。



こんがり焼けた美味しそうな食パン

食を育み、秋の味覚で交流を深めた「えふ・すついーる」



調理で先生や生徒と交流!!

十月二十三日、中標津農業高校調理室にてメンバー自らが育てた野菜を食材に調理実習を行った。

この日は、有原、笹島、河合、小西の四名と生徒三名が参加。五月の野菜（苗）作付けから約五ヶ月間、農業高校のご協力により無事野菜の収穫を終えることが出来ました。その感謝の気持ちを込めて、先生や生徒の皆様と収穫した野菜で秋の味覚を楽しむこととしました。

本日のメニューは、ジャーマンポテト、ポトフ、ポテトツナグラタン、スイートポテトの四

品。それぞれの料理に担当を決め調理を開始。生徒とメンバーはすぐに打ち解け、作業はとてスムーズに進みました。出来上がった料理をみんなで試食すると「美味しい」の連発で調理された四品全てが完食となりました。

最後に、今年初めての試みとなった「食育」活動を通じて地元農業高校から多くの事を学び、次年度に向けても先生や生徒の皆様との「つながり」を大切に食育活動を継続して参ります。



美味しい料理に大満足のメンバー

元気な園児たちと楽しく学習会

ふれあい学習会

十一月七日、えふ・すういーるは今年も計根別幼稚園にてふれあい学習会を開いた。

幼稚園に着いたメンバーを迎えてくれたのは園児たちの「笑顔」。幼稚園のみんなは今年も楽しみに待っていてくれたのです。これにはメンバーも感激。学習会にも力が入りました。

学習会の初めは紙芝居。どの園児も紙芝居を見る目はとても真剣でした。クイズでは、去年二択だった問題を三



クイズに大喜びの園児たち



ぬり絵に夢中の子供たち

択に変更して難易度アップ。えふメンバーの狙い通りに園児も大苦戦。正解の絵を見て飛び跳ね喜ぶ姿がとても印象的でした。さらに塗り絵の号令がかかるとみんなは一斉にクレヨンを取



えふ・すういーるから乳製品グッズが配られて

りに走り出しました。園児たちは自由な発想で好きな色を塗りとても個性的な絵を完成させました。メンバーが話しかけると嬉しそうに答え、子どもたちとメンバーの間で「出来たよー」「あら、上手に出来たね」という会話や塗り絵以外の話も沢山していました。最後はメンバーから園児たちへのプレゼントを一人ずつに手渡ししましたが、先生に言われなくても園児達は「ありがとう」と言ってくれました。

学習会を終えたメンバーを園児が元気にお見送り。子供たちから沢山の元気を貰った学習となりました。

管内の仲間が集結、新たな仲間と交流を深めて

えふ・すういーる管内交流会

十一月十三日、えふ・すういーるは根室管内の女性酪農後継者との交流を深めようと中標津町交流センターにて管内交流会を開いた。

交流会には、メンバー五名、事務局二名、JA中春別の中村さん、藤原さん、JA標津の福本さん、川村さんの十一名が参加。乳製品を使った調理実習により交流が進められた。この日のメニューは、ミルク鍋、チーズ春巻き、かぼちゃだんご、いもだんご、スウィートポテト、カルピス二種類。それぞれの料理に担当を決め、講師の大畑普及員の号令により調理が開始された。調理中は、私生活での会話が多く、話しも弾む参加者はすぐに溶け込み、以前から知り合いのような雰囲気でした。

また、中村さん、藤原さん、福本さんの三人は後継者、川村さんが大阪からの実習生との事であり、試食会を終えた夕方ギリギリまで仕事の会話などで交流を深め「また参加したいので、声をかけて下さいね」と嬉しい一言で交流会を終りました。

さらに、この日の夜には「居酒屋隠れ家」にて親睦会も実施され、JA中標津から遠藤さん（後継者）、渋谷さん（京都出身の実習生）、以前から交流のある小林さん（置戸町後継者）らが出席。酪農という仕事を通じて新たな二名の仲間や管外の仲間との親睦を深めました。

初めて参加した二人も「来るまではとても緊張していた」と話していましたが、自己紹介中には積極的に質問するなど、すぐにみんなと仲良くなりました。

当日までは「どんな人が来るのだろう」「どんな交流会になるのだろう」と毎日が不安でした。しかし、そんな不安も仲間が集まれば全て解消。だから同じ気持ちを持つ人が一人でも多く集まり、みんなの「力」で酪農を支えて行ければと思っています。



親睦会で記念撮影



新たな仲間と調理や試食を通じて交流が深まりました





ゲーム終了後は焼肉を囲んで懇親会



渾身の力を込めた岡崎くんのキック!!

キックベースと焼肉で親睦を深めて JA計根別青年部

青年部上標津支部と養老牛支部の担当により、体力増進や部員間の交流を深めることを目的に十月九日農協グラウンドにてキックベースボール大会を開いた。キックベースには部員や事務局を含めた三十名が参加。二チームに分かれて親睦試合が始まった。

参加者は親睦試合を楽しみワキアイアイとした雰囲気でもゲームを進めた。また、プレー中はゲームに熱中する部員も多く、張り切り過ぎの部員からは普段の運動不足から体の違和感（筋肉痛？）を訴えるなど年々若さも衰える世代が増えたように思えます。キックベース終了後は、正美公園にて焼肉を囲んでの懇親会。支部の垣根を越えて部員間の交流を深めることが出来ました。

親睦と交流を深めたボウリング大会

十一月十四日、青年部大成支部と本別支部では支部や部員間の親睦を深めることを目的に毎年恒例となった親睦ボウリング大会をウコウボウルにて開いた。ボウリング大会は、青年部員三十名、職員七名が参加。部員と職員との交流も深まるボウリング大会となった。



浩平くん優勝おめでとう!!



満面な笑顔のメタボ3兄弟

この日は、二ゲームのトータルポイントで勝敗を競い、各レーンから大きな歓声と拍手が巻き起こるほど盛り上がった。最後に、今年のボウリング大会は常勝組のスコアが振るわず、激戦のすえ斉藤浩平くんが勝利を掴み、上位三名が計根別を代表して管内大会への出場を決めた。

【ボウリング大会結果】

- 優勝 斉藤浩平くん（大成）
- 準優勝 穴戸一哉くん（大成）
- 三位 本田 勉くん（養老牛）

大波乱のミニバレー、スポーツの秋を楽しむ

青年部計根別支部と西竹支部ではスポーツを通じて部員間の親睦を深めようと十一月七日中標津町交流センターにてミニバレーボール大会を開いた。



親睦を深めたミニバレー!!

ミニバレーには部員や事務局を含めた三十三名が参加。役員や支部ごとにチームが編成され、トーナメント方式にて試合が進められた。

試合中に部員が肉離れを起こすなどのハプニングもありましたが、久しぶりにミニバレーをする参加者も多く、スポーツの秋をみんなで楽しんでいました。

また、勝敗については養老牛チーム（二チーム）の圧勝かと思われましたが、年寄り三役チームがまさかの優勝を収める大波乱のミニバレーボール大会となりました。

青年部活動を再認識



アームレスリングに唐崎幸道くんがエントリー!!
でも残念。



分科会で座長を務める鈴木部長



記念講演：森川和徳氏

地区青年部連絡協議会では、十一月二十日寿宴にて根室地区JA青年部大会を開いた。

青年部大会には、管内JA青年部の盟友や事務局を含めて約百三十名が出席した。

青年部大会は佐々木会長の挨拶で開会され、記念講演ではJAみねのぶ専務理事森川和徳氏が講師を務め大会テーマである「活力ある青年部、JA、地域創造のために」と題して農業・組織・個性についての講話となった。

昼食後は、交流・情報交換を通じて地域や自らの課題解決を目的として分科会が開かれ、酪農政策、経営改善、青年部組織、次世代をテーマに四分科会でのディスカッションとなった。

活動実績発表では、JA根室青年部が後継者対策事業「ファームイン根室」の活動事例を発表。花嫁対策の現状や今後の取り組みが紹介された。

最後は、各青年部から力自慢の盟友を集めアームレスリング大会が開かれ、全道大会出場のキップを懸けて熾烈な戦いが繰り広げられた。当青年部からは唐崎幸道くん（東西竹）が出場したが、惜しくも敗退となった。

健康食イメージを高め消費拡大

JA計根別青年部ロール看板設置



青年部では、本年度も道行くドライバーに牛乳の消費拡大を呼び掛けようと十月十四日計根別く中標津線の道道沿いにロール看板を設置した。

この日は天候にも恵まれ、ロール看板づくり順調に進み、トラクターによるロール運びやラッピング、ブラシカッターによる草刈りなど手際良く作業が進められた。



今年は3段積みロール看板

また、今年の標語も青年部の各支部からメッセージを募集、役員会で内容を検討した結果「乳製品でメタボ解消！」にしました。

このメッセージは計根別支部からの提案であり、役員会からも短めで判り易く、インパクトも強い、さらには健康食イメージのアピールにも最適と判断され採用されたそうです。

このロール看板を見て一人でも多くの方が牛乳や乳製品を消費してくれることを願っています。

THE FRIEND CONNECTION

株田 悠介(養老牛支部)
S57.4.23生 25歳

- Q1. あなたの趣味は?
A1. パチンコ、パチスロ、釣り、ボウリング
- Q2. あなたの特技は何ですか?
A2. ボウリング
- Q3. 好みの女性は? 芸能人に例えると…
A3. 菅野美穂
- Q4. 将来の目標は?
A4. 安定した酪農経営と明るい家族
- Q5. あなたの夢は何ですか?
A5. 宝くじを当てて億万長者になる事
- Q6. 友達を紹介してください
A6. 太田隼樹くんです。
- Q7. なぜ太田くんを選んだのですか?
A7. 幼なじみだから…



平成20年度 学生募集

働きながら学んで、 同じ夢を持つ仲間を作ろう!

専攻科とは?

専攻科は、高等学校を卒業した後継者や新規就農者が引き続き家業に従事しながら酪農経営や技術を学び、仲間づくりをすることであります。

単位制の導入で学びたい科目が学習できます

自分の受講したい科目を自由に選択して単位を修得するシステムです。開講科目は、酪農に関する専門科目、教養科目、ゼミナール(専攻科目)があります。

また、開講時間も午前10時45分から午後2時30分までなので、朝夕の乳牛の管理作業に従事しながら学習ができます。

先端技術に対応した学習を実施しています

コンピュータを用いた経営管理などを取り入れた実践的学習ができます。

自家の経営に結びついた学習に取り組めます

自家の草地、または乳牛に関する学習をゼミナールごとに分かれて取り組みます。また、農業簿記による経営診断も行います。夏季の農繁期(6月~8月)は登校・授業がありません。

国内外の実習が体験できます

在学2年目に希望に応じた条件(地域・規模等)で実習を行うことができます(国内、ニュージーランド等)。

- 修業年限 2年 ●募集学科 農業特別専攻科(酪農経営科)
- 出願期間 平成20年1月21日(月)~平成20年1月31日(木) ●検査日 平成20年2月8日(金)
- 出願資格 高等学校を卒業した者、若しくは平成20年3月末日までに高等学校卒業見込みの者で、酪農作業に従事しながら本校に通学可能な方(寮はありません)

資料請求、
お問い合わせは

科 訓
酪理実践

北海道別海高等学校
農業特別専攻科

〒086-0214 北海道野付郡別海町別海緑町70-1
TEL 0153-75-2053 FAX 0153-75-2263
ホームページ <http://www.bekkai.hokkaido-c.ed.jp>
E-mail bekkai-t4@hokkaido-c.ed.jp

個体毎の乳量を積み上げ、 精度の高い生産計画を

営農計画作成 準備講習会

営農課では、厳しい酪農情勢が続くなか、より精度の高い生乳生産計画と新年度の営農計画樹立を目的として十一月二十六、二十七日の三日間により営農計画作成準備講習会を開いた。

講習会には、青年部員を中心に約三十名が参加。営農課の指導のもと次年度の生乳生産計画簡易計算ソフトの利用方法が説明された。

乳量計算の考え方を学ぶ



計算ソフト説明後は、個体毎の乳量をシートに書き込む参加者と持参したパソコンに直接入力する参加者に分かれて作業を開始。作業を終えた参加者は、月別の乳量や分娩予定頭数を把握するなど、現実的な数値により新年度の生乳生産計画や個体販売頭数が予測され、営農計画樹立に向けた根拠のある基礎データを完成させた。

スクリーンとPCを見つめて熱心な受講生



さらに、本年度の組勘収支内容が資料として提供され、費用の細部も確認されるなか、信憑性の高い営農計画書が作成されることと
思います。

熊の迫力と見事な菊に感動



十月二十三、二十五日、年金友の会では毎年恒例となる秋季旅行を開き、年金友の会御一行（四十三名）は十勝方面へと出発した。

秋季旅行初日は、中札内にある花畑牧場を見学。ホースシヨウやドックシヨウを楽しんだ。昼食後にはサホロベアマウンテンへと移動。自然の中で飼われる迫力ある熊に出席者も感激した。この日の宿泊先は十勝川温泉（観月苑）。懇親会ではカラオケを楽しみ、出席者は終始ご満悦だった。

二日目、足寄町化石館やオンラインを見学し

た一行は北見市菊まつり会場へと向かった。会場には見事に育てられた菊が咲き乱れ、高

価な盆栽や花細工の演出もあり大満足の一日となった。その後、年金友の会御一行は阿寒温泉に宿泊。会食時には会員を盛り上げようと温泉組合からヨサコイが披露され、鳴子を片手に大騒ぎの懇親会となった。

最終日、遊覧船に乗船した会員は天然記念物であるマリモを見学。三日間の旅行を終えて無事計根別へと到着しました。



阿寒温泉にてヨサコイで大騒ぎ!!



ベアマウンテンで自然の熊に驚き!!

JA計根別 年金友の会秋季旅行

所得税の改正内容を学ぶ

計根別農協青色申告会

計根別農協青色申告会では、税制改正に伴う変更内容の確認と税務の知識を高めることを目的として、十一月三十日農協二F会議室にて平成十九年度税務講習会を開いた。

当日は、会員十五名が参加。青色申告会唐崎会長の挨拶により開会された。講師には根室税務署から榎田調査官を招き、所得税における改正点の詳細説明や誤りやすい申告事例が話された。参加した会員は減価償却方法や税率の変更、定率減税も廃止されたことを知ることとなった。

その後、e-Tax（電子申告）のシステムが紹介され、システムのメリットが説明されるなか、高い利便性を誇るe-Taxの普及が呼び掛けられた。



税の知識を学ぶ組員!! 改正ポイントを理解して



講師：榎田調査官



開会挨拶：青色申告会 唐崎会長

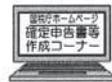
e-Tax イータックス をご利用ください。

税務署

ご自宅のパソコンから申告などの手続きが簡単にできます。

「e-Tax」を利用して所得税の申告をすると

① HPからカンタン申告



② 最高5,000円の税額控除



③ 添付書類が提出不要



④ 還付金がスピーディー



さらに便利で使いやすく!
ネットでどこでも申告・納税。

e-Tax

国税電子申告・納税システム

詳しくは、イータックス で 検索 www.e-tax.nta.go.jp

今季初、スリップ死亡事故発生!

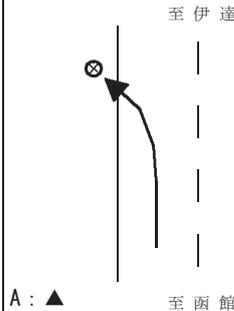
～長万部町の国道で単独路外逸脱、同乗者が車外放出で死亡～

11月22日、長万部町の国道5号で、直線路を進行中の普通乗用車が、凍結路面でスリップし左路外に逸脱、2列目（助手席後部）に同乗していた女性（74歳）が車外に放出され死亡しました。



事故概要（路外逸脱）

11月22日(木) 午前8時45分ころ
長万部町字花岡 国道5号
天候：小雪 路面：凍結
普通乗用車単独
A 当：相模原市・46歳・男性
同乗者：町田市・74歳・女性
(死亡)
※ 死亡した同乗者を含め4人が同乗



冬道は速度を控えて!

この時期は、天候の急変などにより道路が、積雪、凍結路面になる場合がありますので、冬タイヤ、冬ワイパーへの交換など、冬への備えは早めに終わらせましょう。

また、乾燥路面に見えても、ブラックアイスバーンになっている場合もありますので、速度を控えて路面状態をよく確認しましょう。



後部座席もシートベルトを!

本件事故でも、後部座席のシートベルトは着用しておらず、本年中これまでに、後部座席での死者は19人、このうちシートベルトを着用していれば9人が助かったと推測されます。後部席も含め全席でシートベルトを着用しましょう。(平成20年6月、後部座席のシートベルト着用義務付けが施行予定)

11・12月に発生したスリップ事故の状況 (過去5か年：死者76人)

11月 24人(31.6%)
12月 52人(68.4%)

- 時間帯別
8～12時までが21人
- 地形別
郊外の直線路が35人
- 事故類型別
正面衝突が46人

【都道府県の死者数ワースト5】 (11月21日現在)

No.	都道府県名	累計	増減
1	北海道	261	15
2	愛知	252	-38
3	東京	234	15
4	千葉	219	-21
5	大阪	217	-13

【後部座席シートベルト着用率】
● 北海道 8.3% (全国23位)
全国平均8.8% (JAF調べ)

< ホイ・ライトとベルト着用を忘れずに! >



冬季の哺育牛管理について

子牛が風邪や下痢をおこすと成長が遅れ、管理作業も大きな負担になります。冬に向けて哺育管理のポイントをまとめました。

1. 分娩後は速やかに清潔で乾燥した場所に移す

生まれたばかりの子牛は免疫を持たないので、病原菌のない清潔な環境に置く必要があります。また皮下脂肪がほとんどなく、腹部の褐色脂肪細胞を燃焼させて体温を維持します。風通しが良い、敷料が湿っているなど、体温が奪われる環境にいと、この褐色脂肪細胞を消耗し（約18時間）、低体温になり下痢を起こし、死亡することがあります。羊水を拭き（親牛がなめる時はまかせる）、すきま風の当たらない乾燥した場所に速やかに移しましょう。

2. できるだけ早い時期に十分な量の初乳を与える

下痢予防には、速やかに十分な初乳を与えることが重要で（図1）。初乳中の免疫量および子牛の免疫吸収率は、時間の経過とともに低下します（図2）。また病原菌が初乳より先に入ると、腸管の穴を塞いでしまい、免疫を吸収できなくなります。

十分な免疫獲得のためには、

① 比重計を使って免疫グロブリン量を把握し、必要量を与える

初乳の比重1.05の場合、生後6時間以内に2%以上、生後12時間以内にさらに2%飲ませる必要があります。

初乳中の免疫グロブリン量には個体差があり、特に分娩前に漏乳した牛、乳量の多い牛、初産牛では低い傾向にあります。免疫グロブリン量の計測方法は普及センターまでお問い合わせ下さい。

② 冷凍初乳を常備する

初乳の成分が低い、または品質が劣る場合の代替えとして重要です。



十分に敷料が入り乾燥した状態

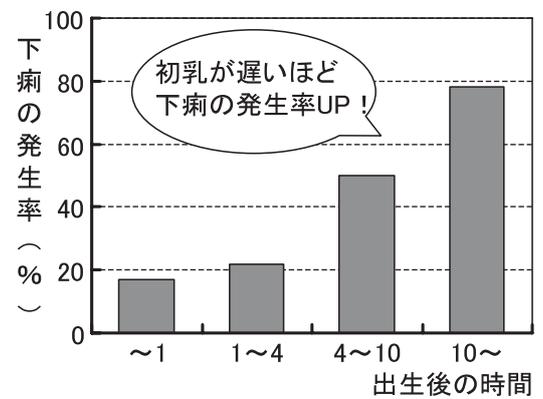


図1 初乳の給与時間と下痢発生率

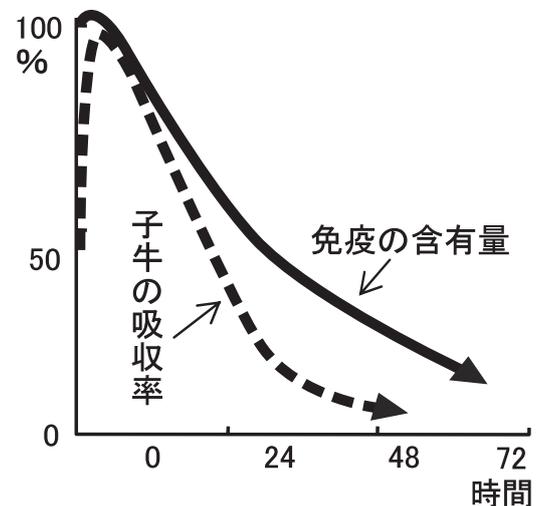


図2 初乳中の免疫グロブリンの消長

3. 換気をし、十分な敷料を入れて保温・清潔を保つ

ふん尿から発生するアンモニアガスは、少量でも気管や鼻の粘膜を刺激し、肺炎や風邪をおこしやすくなります。換気に気をつけ、同時に保温のため十分な敷料を入れましょう（左写真）。また汚れたらすぐ交換し、体毛や敷料を乾いた状態に保ちましょう。

粗飼料分析からサイレージの品質や状態を評価しましょう

今現在、食べさせているサイレージがどんな品質かは、匂いや色、触感などでおおよそ判断は可能ですが、粗飼料分析を行なうことで人間の五感では判断できない栄養価等の成分により品質が評価でき、さらに収穫時期やサイレージ調製の状況などがわかります。

(1)粗飼料分析結果の見方

項目	名称	推奨値	平均値※	解説
pH	ペーハー(酸性度)	4.2以下	4.38 4.89	pHが4.2以下であれば良好な発酵と推察。
ADICP(BP)	酸性デタージェント不溶蛋白質	1.0%以下		結合蛋白質ともいう。刈り遅れ、ヒートダメージ、鎮圧不足、2次発酵などにより高くなる。
TDN	可消化養分総量	64%以上	60.25 61.23	消化吸収できる栄養分。低いと雑草割合が多い、収穫時期が遅いなどの要因がある。
NDF	中性デタージェント繊維	60%以下	67.07 68.10	飼料中の総繊維量を表わし、高くなるとエサの食い込みに影響。雑草割合が多かったり、収穫が遅れると高くなりTDNが低下。
Oa	高消化性繊維	15%以上	8.49 8.25	消化されやすい繊維。数値が高いほど質の良い繊維。
CAsh	粗灰分	7%以下		ミネラルや微量元素の総和。(2)参照!
Ca	カルシウム	0.25%以上	0.42 0.38	カルシウムを多く含むマメ科割合の指標となる。
K	カリウム	2.5%以下	1.76 1.78	3%以上は要注意。そのようなサイレージは乾乳牛への給与をしないように注意。
酢酸		0.5~0.8%	0.75 0.23	数値が高いと、サイレージ調製時間が長い、密封・鎮圧が不十分であることを示す。
酪酸		未検出	0.02 未検出	酪酸菌が糖や乳酸を分解して生成。不良発酵の指標。
NO ₃ -N	硝酸態窒素	0.01以下	0.01以下	0.1%を超えるようなサイレージは要注意!
NH ₃ -N	アンモニア態窒素	6.0%以下	6.77 4.06	高水分や踏圧、密閉遅延で増加。不良発酵の指標。

※平均値：H19年産1番草サイレージ(上段：きざみ,下段：ロール)(ホクレン中標津支所 島部氏提供)

(2)「粗灰分」に注意!

灰分の値が8.0%を超えると、土砂や糞尿など異物混入の可能性がります。

収穫時の刈取り高さが5cm程度と低い場合に、春先の糞尿や土が混入する可能性が高くなります。また、スタックサイロやバンガーサイロ入り口周辺が整備されていないと、ダンプやタイヤショベルのタイヤから泥などがサイレージ内に混入し、発酵品質を低下させます。

(3)H19年産1番草サイレージの傾向

まだ検体数が十分ではありませんが、H19年産のサイレージは例年より水分が低く、pHも低く抑えられており、良い発酵をしたものが多いようです。

今年は収穫作業も早く始まったせい、NDFが例年よりも低い結果が出ています。

また、昨年までは春期の多量糞尿散布の影響と見られる不良発酵のものも多く見られました。今年は改善喚起の効果が出たのか定かではありませんが、カリウムやアンモニア態窒素、ミネラルバランスを表わす当量比などが適正な値に改善されています。

(4)まとめ

粗飼料分析結果からはサイレージの品質はもちろんのこと、収穫時の状況、草地の植生、収穫方法、サイレージ調製の状況など多くのことが読み取れます。購入飼料が高騰している昨今、自らの粗飼料の状態をよく把握した上で、2番草サイレージも併用しながら、購入飼料を少しでも削減できるよう効率の良い給餌を行なってください。

全職員が交通安全を誓う

JA計根別 交通安全職場宣言

計根別農協では、職員を対象として交通安全を呼び掛け、交通ルールに対する意識を高めるとともに悲惨な交通事故を未然に防ごうと十月十四日農協第二、三会議室にて交通安全職場宣言を開催した。

この日は、正午から農協事務所前に全職員が集い、道行くドライバーに交通安全を呼び掛けるパンフレットや牛乳が配られる。

業務を終えた午後六時三十分、中標津警察署を招き交通安全職場宣言を行った。職員を代表して神内正成くん（Aコープ）と角知子さん（金融課）が宣言文を読み上げ、全職員が交通安全を誓った。

その後、交通安全をテーマに中標津警察署より講話を聞き、交通事故の現状や交通ルールを再確認するなど交通事故を未然に防ぐポイントなどを学びました。



新人の神内くんと角さんが宣言文を読み上げる



中標津警察署より貴重な講話を…

共済事業に対する知識を高めた学習会

共済事業学習会



JA計根別では、共済事業の推進や事業に対する理解を深めることを目的として、十月二十一日第二、三会議室にて職員向けの共済事業学習会を開いた。

学習会は、業務を終えた午後六時三十分より開始され、全職員が出席した。講師となった共済連職員（二名）からJA共済がおすすめする生命保険（養老、終身保険など）や車両に関する保険、保障内容が説明された。特に、車両では人身障害特約に話題が集まり、保障内容に対する知識を高めた。



共済連の講師で内容を学ぶ

最後に、学習会を通じて職員それぞれがもしもの時の保障内容や自らの生活設計を再確認するいい機会になったのでは？と思います。

防犯体制強化に向けて訓練実施



JA計根別 防犯訓練

JA計根別は、金融業務など金銭を扱うセクションでの防犯体制強化を目指して、十月八日金融窓口にて防犯訓練を実施した。

防犯訓練実施にあたっては中標津警察署に協力を要請。本署職員が強盗団を装い、逼真的演技で実際の防犯現場をリアルに再現した。また、訓練中にはピストル（空砲）も用意されるなど緊張感漂う状況のなかで職員も真剣な表情で訓練に臨んだ。その後、担当職員それぞれが防犯マニュアルを再検証、非常時の対処方法を改めて学ぶこととなった。

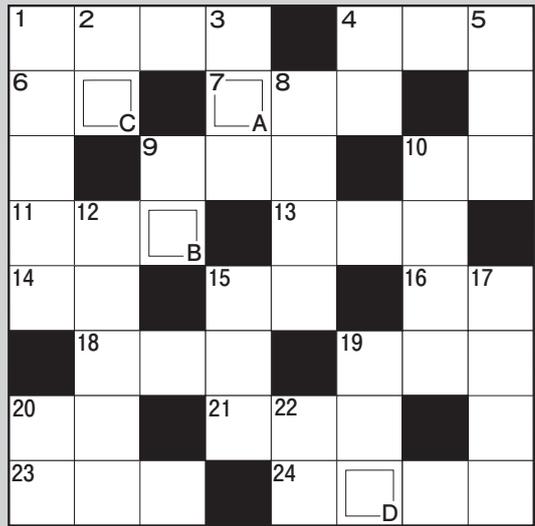
【タテのカギ】

- 1 キリスト様がお生まれになった日
- 2 王様のお住まい
- 3 コタツで食べる果物といえ
- 4 喜色満面の〇〇
- 5 お笑い芸人のウド、ダンサーのパパイヤ
- 8 スキーで使う杖
- 9 カミソリでジヨリジヨリと剃る
- 10 野口みずき、高橋尚子といえ
- 12 英語でスノーマン
- 15 押し入れの戸
- 17 「あなたのことが好きです！」
- 19 天に昇るヘビ!?
- 20 世界を〇〇にかけて活躍するスター
- 22 湯船に浸ってポッカポカ

【ヨコのカギ】

- 1 へ、ヘックシュン!
- 4 トランプの1
- 6 〇〇整然とした文章
- 7 仙人が食べる
- 9 答えを導く手がかり
- 10 暖炉にくべる手頃な大きさ
- 11 化粧を落とすとなくなる人も
- 13 軒先に垂れ下がる棒状の氷
- 14 「鋤」と書く農具
- 15 着ていないと裸
- 16 備蓄が〇〇をつく
- 18 フォーク、タップ
- 19 スキーはグレンデで、スケートは?
- 20 正解につける印
- 21 1日の最高気温が0℃未満
- 23 オムレツを作るのに不可欠
- 24 ケーキにさして火をつける

クロスワードパズル



●正解者5名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

《応募方法》左下の点線の部分を事務所内(販売機横)の投書箱へ。または、組織広報係までFAX(78-2556)お願いします。

《締め切り》平成20年1月15日まで

当選者の発表は「けねべつ」2月号誌上

クロスワードパズル
10月号の答え

ネガイゴト

抽選の結果下記の方が当選いたしました。
すてきなプレゼントを差し上げます。
組織広報係でお受け取り下さい。

工藤 克子さん 山下美代子さん 武田 千代さん
齊藤 長市さん 須崎ななみさん

クロスワードパズル

住所 _____

氏名 _____

TEL _____

答え

A B C D

あしがき

今年も残すところあと一ヶ月となりました。寒さも厳しさを増す今日この頃ですが、組合員皆様は年末を迎えて何かと忙しい毎日をご過ごされていることと思います。

さて、十二月はとうとう営農計画書。新年度の経営方針を定める重要な時期と思えます。先日にも計画書樹立説明会が開かれ、厳しい酪農情勢が続くなか農協としての基本方針が説明されました。

今年のキーワードは「我が家の将来目標」家族みんなで十分な協議が必要となります。また、資材費等の高騰が続く徹底した経費管理、精度の高い生産計画、生産に支障の無い販売計画など新年度の営農計画に厳しい視線が向けられます。

しかし、新年度には前年比一〇三%の生産目標や乳価の値上げなど明るい兆しも見えてきておりますので、この酪農情勢をみんなの力で乗り越えていきましょう。



真冬並みの寒波が十一月に到来し、悴む思いで冬支度、乳牛管理に多忙の毎日と思えます。日々酪農環境が厳しくなる中で生産者の方々の顔も姿も心成しか自信の無い弱々しさを感じます。口から出る言葉も「組合長、酪農はどうなるんだ」「何か明るい話しは無いのか」今はこの一年の結果が見える時だけに私も答えに窮します。配合飼料価格を含めた生産資材の大幅な値上げにも抵抗出来ず、我々の原料乳への価格転嫁も進みません。

系統、道酪対も生産現場の窮状を国やメーカー等にも訴え打開の運動を展開してはいますが、消費者の感情や力関係で勝る量販店が交渉相手です。近々の乳価値上げは難しい状況にあります。

しかし、次年度の乳価交渉は今年中に目鼻をつける事で指定団体やメーカーも交渉に入る予定で進んでいます。早々に再生産可能で適正な



パンジー

東西竹地区皆川敬さん宅の玄関横に珍しい咲き方をしたパンジーを発見。このパンジーは風除室と住宅の間から芽を出し、花を咲かせていました。根はどこに伸びているのか？栄養は？水は？と不思議な事ばかりですが、今では家族から「ど根性パンジー」として大事に育てられているそうです。

乳価になることを願うところです。我々生産者も他人任せでは無く、一人一人問題意識を持って危機突破に向けた運動に支援をしなければなりません。

また、次年度は生産目標数量も北海道では今年目標数量に対して一〇三%と増産の目標設定となり一杯の生産は可能ですが、旧来の様に濃厚飼料を多給しての増産を果たしても収支は改善されません。この先も飼料等生産資材の高騰が考えられ、このまま高値で推移することを考えると個々の経営の中で見直しが必要ですが、早急に或いは数年かけて改善する事を真剣に考えて実行しなければ酪農家として生き残れません。

今時の酪農にもこの寒さにも忍と耐で「何糞」の気持ちで「踏ん張る」しかありません。

平成十九年十二月十日 額額 成喜



編集／計根別農業協同組合 営農部 営農課 組織広報係
発行日／平成19年12月10日